

# Wonderful World/Wonder-K

All songs written by Wonder-K

## 01. Wonderful World

すべてが上手くいなくて僕は世界を  
少しだけ恨んでみたりして  
そんな時君のいつもの声が聞こえたら  
世界もちょっとはマシに見えるよ

何もかも嫌おうとしたって  
それでもまだ夢見ていた  
明日もきっとそうだろうな

信じていかなきゃいけないのは  
誰かの綺麗事じゃなく  
他でもない僕ら自身だ  
暗く淀んだ現実だって  
愛することができたなら  
世界は晴れ渡っていく

自分で作り出していた限界は幻想だ  
君とならその先へ行けるよ

何度となく裏切られて  
それでもまだ信じている  
君もきっとそうだろうな

守っていかなきゃいけないのは  
誰かの綺麗事じゃなく  
君といるこの世界だ  
底知れぬほどの期待と不安が  
今も僕を呼んでいる  
この素晴らしい世界で

信じていかなきゃいけないのは  
誰かの綺麗事じゃなく  
他でもない僕ら自身だ  
暗く淀んだ現実だって  
愛することができたなら  
世界は晴れ渡っていく  
ここはそう 素晴らしい世界

## 02. はじまり

暖かな朝の日差しに  
すさんでいた心も弾んだ  
始まりの予感をそっと  
やさしい風が運んできた

たった一つの強がりだけを  
この胸に強く抱きしめ  
君を探して駆け出してゆく  
あてもないままに

希望が少しだって今 そこにあるのなら  
何度だって手を伸ばしてく 暗闇を超えて  
喜びそして悲しみ 全て受け止めて  
今ここに始まる世界 君と歩きたい  
そう願うよ

うす曇りのメモリーを少し  
苦笑いして破いたなら  
新しい時を刻むよ  
何もかも全てが始まる

"夢"や"希望" そんなフレーズは  
綺麗事だというけれど  
僕はそれでも信じてみたい  
美しき世界を

僕が今もこの場所で 生きていることを  
「正しい」とは言えなくても ただ生きていたい  
喜びそして悲しみ 全て新しく  
今ここで創り出せるよ 君とならきっと  
そう信じよう

希望が少しだって今 そこにあるのなら  
何度だって手を伸ばしてく 暗闇を超えて  
喜びそして悲しみ 全て受け止めて  
今ここに始まる世界 君と歩きたい  
そう願うよ

## 03. なにか。

誰かの後を辿り  
意味も無く歩いていく  
何のため？誰のため？  
考えんのも疲れたよ

時代に追われるまま  
大切なものさえも  
置き去りにして生きてく  
「なにか」を信じて

いつでも見えもしない「なにか」に  
すがって生きるこの僕に  
そっと降り注ぐのはいつも  
現実という冷たい雨

曇り空がささやく  
かすかな雨音の中  
全てに嫌気が差し  
心が叫びだしたよ

失くすのが怖いから  
遠ざけていたぬくもり  
気付かぬフリをしながら  
「なにか」を待ってる

誰もがきっと痛みをつれて  
この世界を生きてるけど  
まだ見ぬ「なにか」に焦がれて  
ただ歩き続けているよ

いつでもただ「なにか」を待ってる  
そんな日々を手を振ったら  
今すぐ本当の自分を  
この手で捕まえにいこう

いつかは見えもしない「なにか」を  
確かな未来に変えてく  
そっと空に手を伸ばしたら  
「なにか」をつかめた気がした

#### 04. Word for You

君が寂しそうな眼で僕を見たとき  
恋のメロディーがはじけ飛んだよ 僕の中で

出会った日と同じ道 降り出した雨に震えてる  
小さな背中へと 今駆けてゆく

怖かった 僕の眼に君を映せなくなるのが  
それでもこの想いを伝えたいよ  
たとえそれで全てを失ってしまったとしても  
それでいい ただ君を追いかけてゆく

「孤独が好きだ」なんて強がってみたけど  
心の中では君の全てを欲しがってた

出会った日から何度も回り道をしてきたけど  
もう迷わないから 君のもとへと

いつも逃げ回って自分の気持ちから眼を逸らす  
そんな日々は今別れを告げて  
ずっと言えなかったたった一つの言葉だけを  
光の速さで君に届けたい

たどり着いたそのまたたく命に手を伸ばす  
ずっと望んだ背中に手が触れた...

怖くない 僕の眼に君を映せなくなるのも  
今すぐこの想いを伝えたいよ  
たとえそれで全てを失ってしまったとしても  
それでいい ただ君のことしか見えない

#### 05. 未来ジェネシス

いつもの風景を通り過ぎていく  
あの頃のように笑えない自分に気付いた  
立ち止まることを許さない世界で  
柄にもなく強がってちょっと無理してんだ

あの日描いた理想はどこにしまったっけ？  
窓に映る自分に今そっと問いかける

傷ついたってそれでも心は「生きたい」と叫ぶ  
暗闇の中瞬く光がいつの日もここにあった  
探していた答えにたどり着ける日がくること  
心の奥でそっと願いながら  
自分のペースで さあ  
歩き出そう

人ごみの中でも僕は独りで  
うねる時代の波に足元をすくわれてんだ

言い訳や嘘ばっか上手くなっていく  
本当の自分は何処？今探しに行こうか

揺らめいた想いが描き出した未来の色  
暗闇の中瞬く光がこの胸に溢れ出すよ  
閉ざされた世界を今この手でこじ開けたら  
思いのままに新しい未来を僕は創り出してゆく  
いつの日にも

傷ついたってそれでも心は「生きたい」と叫ぶ  
暗闇の中瞬く光がいつの日もここにあった

揺らめいた想いが描き出した未来の色  
暗闇の中瞬く光がこの胸に溢れ出すよ  
探していた答えは今もこの場所にあるんだ  
心の奥でそっと抱きしめながら  
自分のペースで さあ  
歩き出そう

#### 06. The word no one will hear

狭い孤独の中に 独りで 閉じこもっている僕  
誰も見向きもしないのに  
群衆の中には 僕の 心の声なんて  
決して届くことはないよ

窓から見える 街並みは 遠く  
いつかの夢は どこかに 消えてしまった

そして僕のこの心は 行き場をなくし泣き叫ぶ  
それを何食わぬ顔で隠して今日をやりすごすよ  
だけどこの叫びが誰かに届くことをまだ僕は  
心のどこかで そっと願って過ごしてるんだ

涙でさび付いた世界は 色あせてしまって  
生きる意味も溶け出してた

傷つくことも 傷つけることも  
出来ないままで 生きてはゆけなかった

そして僕の心の歌は 誰が聞くこともなくて  
狭い孤独な世界に むなしく響き渡るだけさ  
だけどこの叫びが誰かに届くことをまだ僕は  
心のどこかで そっと祈って過ごしてるんだ

少しずつ 変わってく この日常のなかで  
いつの日か いつかまた 笑えたらいいな  
少しずつ 変えてゆく この世界のなかで  
いつの日か きっといつか 光に触れたい

「いつか僕の声が君の心に届くなら・・・」  
そんな淡い願いさえ  
今は捨てないで生きてゆく

だから僕の息が絶えてしまうそのときまで  
僕が僕であるために 声をからして歌い続ける  
この閉ざした部屋を開け放ち  
笑うことができたなら  
僕の世界もまた輝きを取り戻せるかな・・・

## 07. スターダスト

透き通るような君の声に よく似た風のせせらぎ  
月明かりが夜を照らした  
君はもういないのに 僕は有限の幻想から  
抜け出せないの ああ ダメだなあ

いつの間にか増えていった喜び悲しみは  
僕一人では抱えきれない 独りは怖いよ

溢れ出す記憶が遠くなり消えてゆく  
「今でも君の心に僕はいますか。」

後悔だけが積み上がった  
部屋から見えたあの星が  
やけに輝いて見えたんだ

どうせ僕が存在なんても  
取るに足らないのでしょう  
それでも君のその世界を  
少し変えられたかい？

君がいたこともいつか忘れてしまうのかな  
僕は何よりもそれを恐れて哭いていた

溢れ出す記憶が遠くなり消えてゆく  
「今でも君の心に僕はいますか。」

君がいたこともいつか忘れてしまうのかな  
僕は何よりもそれを恐れて哭いていた  
君がいたことをいつの日にも忘れぬように  
孤独の窓辺に君の花を添えてみる

## 08. Our Beat to the Future

僕は今 果てしない旅路の  
途中をずっとさまよっている  
未来へと向かって  
だけど時に世界の不条理さに  
負けそうになって  
生きている意味を見失ってしまう

それでもここにいることは・・・

間違いじゃない どんなときも  
道は続いてゆくから  
自分の信じた道をただ  
歩き続ければいいさ  
苦しみながら 迷いながら  
僕らの放つメロディーは  
きっといつか光となって  
未来を照らしてくれる

流れて行く人の群れの中で  
まだ動き出せない自分に  
苛立ってる気持ちを  
すさんでゆく現代の社会の  
せいにしていただけじゃ何も  
変えられはしないよ

だから今こそ動き出すんだ

たとえ誰も望まなくても  
僕はただ僕のために生きてゆくよ  
だから今この時を歩いてゆけるんだ  
忘れないで 僕らの前の  
辛い現実の中にも  
幸せはきっと転がってる  
そう信じて生きてゆこう

たとえ誰も望まなくても  
僕はただ僕のために生きてゆくよ  
だから今この時を歩いてゆけるんだ  
苦しみながら 迷いながら  
僕らの放つメロディーは  
きっといつか光となって  
未来を照らしてくれる

## 09. 眠れない夜

君にはきっと届かないと分かっている  
それでも性懲りもなく想像の中に堕ちてく  
気が付けばもう夜が視界を染めていて  
僕はため息ひとつ 憂鬱を噛み締めながら  
今日が過ぎてゆくんだ

やり場のないこの愛を  
僕は独りで握りしめている  
眠れない夜にふわりと  
行き場を失くした寂しさが浮かんでゆく

君の笑顔や泣き顔 ずっと見てきた  
だけど君はそんな事 知る由もないのでしょう  
それでも構わないさ

やり場のないこの愛を  
僕は独りで握りしめている  
眠れない夜にふわりと  
行き場を失くした寂しさが浮かぶ  
僕の知らない世界で  
いつしか君も大人になってくのかな

## 10. 微小振動

在るべき型からはみ出した感情が  
口からこぼれて互いを傷つける  
何もかも全て終わりにしちゃえば  
幾分か僕ら楽になれたりすのかな

だけど僕らはまた繰り返してんだ

すれ違って 傷つけあって それでも僕はまた  
君に会いたくなるんだ いつもそうなんだろう  
触れていたくて 届きはしなくて 渴いてく命が  
君を求め 今 微かに震えんだよ

僕らの育てた愛情がもしも  
欺瞞に満ちているものだったとしたって  
優しい虚構に酔ってたいんだ  
それだけで僕は孤独を忘れられるから

そして僕らの日々は続いてく

求めあって 拒み合って いつでも僕はまた  
君に会いたくなるんだ 今日もそうなんだろう  
空回って 苦しくなって 悴んだこの日々を  
君の微笑みでそっと温めて

重なり合った 響かせ合った わずかな振動を  
終わりにさせんのはまだ早いだろう

すれ違って 傷つけあって それでも僕はまた  
君に会いたくなるんだ いつもそうなんだろう  
触れていたくて 届きはしなくて 渴いてく命が  
君を求め 今 微かに震えんだよ

## 11. モノローグ

何度も諦めたつもりだった君との世界が  
無造作に並べた日々少し映り込んでいた  
優げな瞳が覗き込んだいつかの記憶は  
あの時と変わらぬまま僕を嘲笑うんだ

「もう一度出会えたなら。」  
そんな言葉ばかりが駆け巡る  
縫り付こうとした過去は  
手のひらをすり抜けて  
遠くの空に消えた

言葉を選んでは隠し通した醜い自分が  
顔を覗かせるたびに嫌気が差していた  
僕は世界が望む「誰か」になんて  
なれはしないんだ  
それに気づくのが少し遅かっただけなんだ

「もう一度やり直せたら。」  
そんな願いさえも握りつぶして  
生きてゆくだけの強さが  
僕にはまだないから  
独りで君を待つよ

ありふれた現状、僕は交差点の上。  
「過ち」を「正しかった」と言える日を待っている。

「もう一度出会えたなら。」  
そんな言葉ばかりが駆け巡る  
縫り付こうとした過去は  
手のひらをすり抜けた

「もう一度やり直せたら。」  
そんな願いさえも握りつぶして  
生きてゆくだけの強さが  
僕にはまだないから  
独りで君を待つよ

## 12. Sorrow

諦めようとしてみるけど  
捨てられずそっと隠した  
そんな淡いこの想いが  
君の笑顔で少し揺らいだ

やがて消え去ってゆく  
君の姿を眺めてた  
それが小さくなるほど  
傷は大きくなる

そして時は今こぼれ落ちてゆく  
全てを消し去るように  
悲しみの雨に打たれた心で  
僕はただ立ち尽くすよ

僕らが巡り会ってから  
君がくれたものはどうせ  
ずっと捨てられないから  
大切にしまっておくよ

だけどいつかは僕も  
前に進まなきゃいけない  
再び歩き出すには  
痛みが伴うけど

君と出会えたことも僕の胸に  
そっとしまっただけ進むよ  
色を失ってしまった偽りの  
永遠も捨て去ってゆく

暗闇へと堕ちた僕の世界を  
照らしたのは君だから  
どんな悲しみに飲み込まれても  
君に出会えてよかった

そして時はまたこぼれ落ちてゆく  
幸せな過去を置いて  
歩き出せば悲しみの向こうで  
未来が動き出したよ

悲しみの闇を越えたその先で  
また君に出会えるかな・・・

## 13. Goodbye, World(Instrumental)